

【1 駅前再整備の進捗状況】

- 令和5年度末に「苫小牧駅周辺ビジョンに基づく基本構想（以下「基本構想」という。）を策定し、令和6年度から8年度までの事業スケジュールを示したところ。
- 本事業スケジュールにおいては、下記のとおり示している。
 - 令和6年度中に各種協議の合意を目指し、事業全体を前に進める
 - 民間事業者を選定し、令和7年度以降、市とともに事業内容を検討していく
 - 駅前広場の都市計画変更や、国の補助金等の活用に向けて、早期に関係者との協議や手続きを進める
- 上記を踏まえた進捗状況として、この度、基本構想に示した駅前再整備想定区域（以下「再整備区域」という。）内に土地を所有する、大東開発株式会社及び株式会社エイチ・アール・ネットと駅前再整備における基本的な考え方について合意したことから、その内容について報告する。
- 駅前再整備に関するその他の進捗状況についてもあわせて報告する。

【2 大東開発株との基本合意】

再整備区域内に所有する両者の土地の譲渡を含む駅前再整備の基本的な方針について、市と大東開発が協力して進めていくことに関する合意を締結する。⇒令和6年6月4日締結

ポイント1

大東開発は、旧サンプラザビル敷地を含む再整備区域内の所有地のすべてを市に譲渡する。

ポイント2

市は、再整備区域内の上記土地と同等程度の所有地を大東開発に譲渡し、大東開発は、居住人口の増加をはじめとした再整備区域の役割に配慮し、市が目指す町並みや周辺環境と調査した事業内容を市と協力して検討する。

ポイント3

土地の譲渡にかかる時期や譲渡方法などに関しては、別途協議する。

【3 ㈱エイチ・アール・ネットとの基本合意】

再整備区域内に所有する両者の土地交換を含む駅前再整備の基本的な方針について、市とエイチ・アール・ネットが協力して進めていくことに関する合意を締結する。⇒令和6年5月9日締結

ポイント1

再整備区域内のエイチ・アール・ネット所有地と同程度の市所有地を交換する。

ポイント2

土地交換の範囲や諸条件、時期、方法などに関しては、別途協議する。

【4 その他進捗状況】

① J R北海道との協議

市は移転補償費算出のための調査業務、J R北海道は駅舎の構造調査業務をそれぞれ開始したところであり、今後、調査の進捗も踏まえて協議し、詳細合意を目指していく。

② 国・北海道との協議

国とは補助金等活用のための具体的手続き、北海道とは駅前広場整備や都市計画に関する具体的内容について協議を開始したところであり、今後、検討を深めながら協議していく。

③ 民間事業者の選定

公募に向けた要件整理のため、民間事業者協議を実施予定。

事業スケジュールについて

- 令和6年度中に各種協議の合意を目指し、事業全体を前に進める。
- 民間事業者を選定し、令和7年度以降、市とともに事業内容を検討していく。
- 駅前広場の都市計画変更や、国の補助金等の活用に向けて、早期に関係者との協議や手続きを進める。

項目	R6年度												R7年度				R8年度			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
目標地点																				
旧サンプラザビル																				
民間事業者																				
駅前再整備																				
都市計画決定																				
補助金																				

